

問1 18世紀後半のフランスにおいて、第一身分の聖職者や第二身分の貴族といった特権階級に対し、第三身分の人々が強く反発し、フランス革命へとつながった背景として正しいものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. 特権階級が免税特権を維持したまま、国家の財政難を解決するために平民への増税を求めたこと
2. 聖職者が平民に対してのみ、教会の役職に就くことを義務付け、労働を強いたこと
3. 国王が特権階級の領地をすべて没収し、平民に平等に分配しようとしたこと
4. 貴族が産業革命を推進し、平民の伝統的な職を機械によって奪ったこと

問2 18世紀後半から、オーストラリアがイギリスの支配下に置かれ、開拓や資源の獲得の拠点となっていた歴史的な状態を指す用語として、最も適切なものを選択してください。（2016年 山口公立入試 類似）

1. 植民地
2. 保護国
3. 自治領
4. 委任統治領

問3 古代アテネで直接民主政が成立・維持された背景や特徴について、現代の民主主義と比較した説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 山梨公立入試 類似）

1. 国家の規模が小さく、市民が特定の場所に集まって直接議論することが可能だった
2. 通信技術が発達していたため、遠隔地からでも市民が投票に参加できた
3. 選挙によって選ばれた専門の議員が、市民の代わりに法律を制定していた
4. 全ての住民が平等な権利を持っていたため、争いなく物事が決定されていた

問4 黄河や長江の流域で発展した古代の中国文明に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形公立入試 類似）

1. 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。
2. 粘土板に楔形文字を刻み、天文学や六十進法などの高度な技術が発達した。
3. パピルスという紙に神聖文字（ヒエログリフ）が書かれ、太陽暦が用いられた。
4. 印章などに刻まれたインダス文字が使用され、レンガ造りの計画的な都市が築かれた。

問5 7世紀の世界のできごとを記した年表において、ムハンマドという人物がアラビア半島でおこしたとされる宗教について、その教義と聖典の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 沖縄公立入試 類似）

1. 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。
2. 救世主としてのイエスを信じ、隣人愛を説き、『新約聖書』を聖典とする。
3. 悟りを開くことで苦しみから解放されると説き、多くの『経典』を聖典とする。
4. 万物に神が宿ると考え、自然を崇拜し、特定の聖典を持たない。

問6 日本列島において、人々がナウマンゾウなどの大型動物を狩り、植物の採集を行って生活していた、土器が使用される前の時代に、主に使われていた石器の名称として適切なものを選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 打製石器
2. 磨製石器
3. 骨角器
4. 金属器

問7 エジプト、メソポタミア、インダス、中国の各文明において、共通して見られる文化や制度上の特徴として正しいものはどれですか。（2025年 山梨公立入試 類似）

1. 大河の水を農地に引く灌漑農業を行い、余剰生産物を管理する中から文字が生まれ、権力の象徴として神殿や宮殿が造られた。
2. 鉄製の農具を普及させることで森林を切り開き、広大な農地を確保するとともに、赤道直下の気候を利用して二期作を行った。
3. 高度な石造技術を用いてすべての都市を基盤の目状に整備し、文字を使わずに結縄（縄の結び目）による記録制度を確立した。
4. 厳しい乾燥帯での生活を維持するために遊牧を主とし、部族間の対等な契約を記すために象形文字を発明した。

問8 日本の歴史を、社会の仕組みの変化に基づいて大きく4つの時代に区分した場合、1500年頃から1800年代後半までの、織田信長・豊臣秀吉による統一政策や江戸幕府の支配が行われていた時代を何と呼びますか。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 原始・古代
2. 中世
3. 近世
4. 近代・現代

問9 奈良の平城京にある東大寺の正倉院には、聖武天皇の遺愛品などが数多く納められています。その中にある「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」などの工芸品は、中央アジアや西アジアの影響を受けた国際色豊かなデザインが特徴です。これらの文物が唐の都である長安を経て日本へ伝わる際に通った、中国と西方を結ぶ陸上の交易路を何と呼びますか。（2014年 沖縄公立入試 類似）

1. シルクロード（絹の道）
2. 海の道（香辛料の道）
3. ステップの道（草原の道）
4. 茶馬古道

答え合わせ・解説

問1	答え 1 特権階級が免税特権を維持したまま、国家の財政難を解決するために平民への増税を求めたこと	当時のフランスは、相次ぐ戦争や宮廷の浪費により深刻な財政難に陥っていました。国王はこれを解決するために、第一身分（聖職者）や第二身分（貴族）にも課税しようと試みましたが抵抗に遭いました。結局、負担が第三身分（平民）に押し付けられる形となり、身分制議会である三部会での対立をきっかけに、平民たちの不満が爆発して革命へと発展しました。
問2	答え 1 植民地	1788年にイギリスの船団がシドニーに到着して以降、オーストラリアはイギリスの流刑地や定住地として開発されました。このように、ある国が自国の主権を国外に広げ、軍事的・経済的に支配した土地を植民地と呼びます。当初は先住民であるアボリジニの居住地でしたが、イギリスはこれらを「無主の地」として支配を強めました。
問3	答え 1 国家の規模が小さく、市民が特定の場所に集まって直接議論することが可能だった	古代ギリシャのポリス（都市国家）は、現代の国家に比べて人口や面積の規模が非常に小さかったため、市民が一堂に会して直接議論する「直接民主政」が可能でした。現代の国家では規模が大きすぎるため、代表者を選ぶ「間接民主政（議会制民主主義）」が一般的ですが、アテネでは市民が自ら国政に携わる形態がとられていました。
問4	答え 1 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。	中国文明では、紀元前16世紀頃の殷（商）の時代に、占いの結果などを記録するために「甲骨文字」が使用されました。これがのちに私たちが使用している漢字のルーツとなりました。他の選択肢はそれぞれ、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明の特徴を説明したものです。
問5	答え 1 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。	イスラム教は7世紀にムハンマドによって創始されました。唯一神アッラーを信じる一神教であり、その教義は聖典『コーラン』にまとめられています。教義の中では、信仰だけでなく、信者同士の連帯や助け合いといった社会的な実践（善行）も強く推奨されているのが特徴です。
問6	答え 1 打製石器	石器が出現する前の旧石器時代には、石を打ち欠いて作った打製石器が使われていました。この時代の後の縄文時代になると、石を磨いて作る磨製石器や、食料を煮炊きするための土器が使用されるようになります。石器の作り方の違いは、旧石器時代と新石器時代（日本では縄文時代以降）を区別する重要な指標です。
問7	答え 1 大河の水を農地に引く灌漑農業を行い、余剰生産物を管理する中から文字が生まれ、権力の象徴として神殿や宮殿が造られた。	古代文明の多くは、大河の流域で灌漑による農耕や牧畜を基盤として成立しました。生産力が向上して人口が増えると、集団を統率する支配者が現れ、その威信を示すための巨大建築物（神殿・宮殿）が造られました。また、農作物の収穫量や家畜の数を記録するために文字が考案され、文明の発展を支える重要な手段となりました。
問8	答え 3 近世	日本の歴史区分において、戦国時代の終焉から明治維新までの期間は「近世」に分類されます。この時期は兵農分離が進み、幕藩体制という統一的な政治組織が確立されたことが大きな特徴です。500年頃までの「原始・古代」、武士の台頭が見られる1000年頃からの「中世」と区別されます。
問9	答え 1 シルクロード（絹の道）	古代、中国（漢や唐の時代）と中央アジア、西アジアを結んだ陸上の交易路は「シルクロード（絹の道）」と呼ばれます。奈良時代の日本は遣唐使を通じて唐の文化を積極的に取り入れました。当時の唐は国際色が非常に強く、シルクロードを通じてもたらされた西方の楽器や装飾技術が日本にも伝来しました。その宝物が今も正倉院に保管されており、日本はシルクロードの東の終着点とも称されます。